

妊娠中のみなさんへ

風疹が流行しています！ 気をつけて

テレビや新聞でも報道されていますが、現在、千葉県と東京都を中心に、風疹が流行しています。

妊娠20週頃までの妊婦さんが風疹に感染すると、お腹の中にいる赤ちゃんにも感染して、赤ちゃんの眼や耳、心臓などに影響が及ぶ先天性風疹症候群が出現するおそれがあります。

周囲の風疹患者に接することがないように、十分に注意
してください。



1. 妊婦さん自身にしていいただきたいこと

- ・ あなたは風疹の抗体をもっていますか？確認してください。

(抗体価が「16倍」以下の場合と、抗体価は不明で以前風疹にかかったことがなければ、感染する可能性があります。)

- ・ 妊娠中は風疹ワクチンの接種を受けることができません。

風疹に対する抗体がない・低い場合は、人混みを避けて、風疹患者に接することがないように注意してください。

2. ご家族や職場の方にしていいただきたいこと

- ・ ご家族、職場の同僚のみなさんなど、妊婦さんの周りの方に
に罹患歴・予防接種歴があるかどうか、確認してください。

もし風疹の罹患歴がなく、1歳以上で2回の予防接種の記録がない場合は、急いで【麻疹風疹＝MR】ワクチンの接種を受けてください。

特にご主人の確認は是非ともお願いします。

千葉県での現在の流行の主体は30～50代男性です。

風疹について

■潜伏期間・・・14～21 日（平均2週間強）

■最初の症状・・・①発熱

②耳の後ろ、後頭部のリンパ節の腫れ

③全身の赤い発疹

④眼が充血し、赤くなります。

（はっきりした症状を伴わない場合（**不顕性感染**）も5～30%あります。）

■感染の仕方・・・くしゃみ・咳などの唾液のしぶき、接触

■感染する期間・・・

発疹の出る1週間前から症状が消えるまでの間です。

（なお、上述の**不顕性感染**でも感染力はあります。）

